

開始

実証事業終了後には現地では本格的な事業化を進めていく計画(両社で合意文書を締結)

ムの確立を目指す方針だ。

タイでは以前より増え続けるWEEEの回収、リサイクルが課題とされており、タイ政府は本格的にWEEE法案の制定に向けた準備を整えてきた。今回NEDOとアビツ・日高洋行の取り組みはタイ政府が進める環境問題解決を後押しすると共に有用資源の適正回収も行える日泰両国にとって有望なプロジェクトとして期待を集めている。

新社長登場

New President



近畿工業

和田知樹氏

今年8月1日付で新社長に就任した。同社は破

な製品開発やサービスの強化などにより、景気に

返りが進み、社員の平均年齢が30歳台半ばと若い

縁の下の力持ちとして業界の発展につながれば

素晴らしい会社でサービスから営業、工場管理などさまざまなことを学ばせていただいた」と感謝を述べる。

人材が多い。さらに将来の海外展開なども視野に海外の若手エンジニアの採用も行っており、「若い力でチャレンジし続ける」ことで

自社を「総合破砕機メーカー」と称して産業廃棄物関連・金属リサイクル業界向けとも営業の強化を図る中、「両業界とも人手不足という大きな課題に直面している」と認識し、将来的には「リサイクルの自動プラント化

14年4月近畿工業取締役、15年8月取締役営業本部長、16年8月専務取締役、19年8月代表取締役社長。趣味は釣り。1980年12月16日生まれ、38歳。兵庫県出身。

100年企業へ常に挑戦

破機・選別機メーカー大手。主力製品の二軸せん断式破砕機は発売開始から30年で2000台以上の販売実績を持ち、ここ数年は金属リサイクル業界向けの製品開発にも注力する。他社との差異化を図ることができるよう

同社4代目の社長で、父の和田直哉・前社長(現会長)からバトンを受けて、前社長と同じく38歳の社長就任となった。同社では役員・幹部も若

国内における産業廃棄物や金属スクラップなどのリサイクル分野については「まだまだ向上の余地がある」とし、当社の製品は世間一般に自立つようなものではないが、

▽和田知樹(わた・ともき)氏 2003年3月甲南大法卒。アメリカ留学後、11年4月に精密ポンプ製造の兵神装備(神戸市)入社。非常に

左右されない強い会社を目指す」と意気込みを語る。

100年企業を目標に据える。

を実現させたい」と語り、リサイクル分野で活用できるAI(人工知能)やロボットなどの研究開発も推進していく方針だ。(早間 大吾)

業
ファイバー
アマダ
製斤兌幾亭人

の鋼板加
軟鋼で板
24×
5×10

綿半ホ
スは18日、
手がける
シヨンス
都新宿区
の。日鐵
のファイ
導入とな
置工事
働も完了
間体制の
け、オペ
熟や後工
対応を進

岐阜県庁の立体

岐阜県庁の立体